



みどりの里

宇奈月小学校だより

第10号

平成30年11月1日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

深まりゆく秋 読書のすすめ

校長 四杉 昭康

10月22日から11月22日までの一か月間は本校の読書月間です。読書月間中は児童会図書委員会が中心となり、様々な読書活動推進の取組が予定されています。その一つである「図書ビンゴ」は、達成したスタンプをタテ、ヨコ、ナナメに楽しく揃えて、様々なジャンルの本に出会うように工夫されています。また、「親子読書」は家族で同じ本を読んで感想を伝え合ったり、異なる本を読んで内容を紹介し合ったりするなど、読書を通して家族の触れ合いを深めることも大きな目的となっています。また、学校司書による読み聞かせだけでなく、地域のボランティアサークル「おはなしたんぽぽ」による毎週水曜日の1～3年生を対象とした読み聞かせは、本校創立以来ずっと継続されており、児童も楽しみにしているものとなっています。

10月31日(水)大休憩に開かれた校内読書会では、「100万回生きたねこ」がテーマ本になっていました。その日の朝読書の際、2年生教室では読書会に先がけて「100万回生きたねこ」の読み聞かせが行われていました。2年生の中には、「最後のところで白い猫が動かなくなって死んでしまい、トラ猫が悲しんでそのうち死んでしまったところがとても悲しいと思いました」「初めトラ猫はだれも好きではなかったけど、白い猫と出会ってから白い猫や子猫を大切に思うようになったと思いました」と、作品のテーマに迫る感想を互いに伝え合っていました。



「100万回生きたねこ」読書会の一コマ

国では平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、読書活動の推進のための基本理念や国・地方公共団体の責務等が明確に示されました。そして平成26年3月には、富山県では「富山県子ども読書活動推進計画」が、黒部市では「黒部市子ども読書活動推進計画(平成26～30年度)」が策定され、読書活動推進のための具体的な施策が示されています。黒部市立図書館と黒部市立図書館宇奈月館の蔵書の合計は約22万冊、そのうち児童図書は約5万冊となっています。本校の図書室には8,615冊の蔵書があり、予算に基づいて毎年新刊を購入しています。また、PTAからの寄贈図書もあり、図書室や図書ラウンジを中心にいつでも本に親しめる環境が整っており、児童にとって恵まれた環境になっていると思います。

先日、児童や教職員の間でテレビドラマの「下町ロケット」が話題に上がっていました。ご存知のように、「下町ロケット」の原作者は直木賞作家の池井戸潤です。これまでも「半沢直樹」や「陸王」等の人気テレビドラマの原作者として有名で、それらの原作を読まれた方も大勢いると思います(私もファンです)。好きな作者の作品を続けて読むのも、また話題になったベストセラーを読むのも楽しいものです。

深まりゆく秋、図書室や図書館、書店等で良書を選び、じっくりと読書することをおすすめします。家庭でも「親子読書」として取り組んでみてはいかがでしょうか。

収穫の秋、5年生が稲刈りに挑戦しました！

春に田植えをした稲もすっかり大きく実り、収穫の秋を迎えました。9月26日（水）、JAと地域の農業法人のご協力の下、5年生が稲刈りに挑戦しました。あいにく田んぼはぬかるんでいましたが、5年生は稲を一株一株丁寧に鎌で刈り取り、収穫していました。

大型のコンバインも登場し、あっという間に刈り取りの様子を見て、農業機械の便利さについても学びました。学校へ帰ってから、おいしいおにぎりもいただきました。稲刈り体験を通して、これからの農業について考える機会となりました。



「稲刈りは大変な仕事だね」

中学生への準備を！……宇奈月中学校オープンスクール

10月2日（火）、延期となっていた宇奈月中学校オープンスクールが実施され、6年生が参加しました。中学校の校舎を見学したり、先輩の授業の様子を見学したり、試しに授業に参加したりしました。

数学では「正負の数」についてトランプを使った学習を、英語では100までの数や百以上の数の言い表し方等についての学習を、それぞれ体験しました。少し緊張した様子でしたが、中学校入学まで約半年になりました。残りの小学校生活を充実させるとともに、中学校への心の準備を少しずつ進めていってほしいものです。



「中学校の授業は、楽しそうだね」

ザリガニ釣りに行きました！

10月5日（金）、2年生が生活科の学習で、黒部市浄化センターの公園へザリガニ釣りに行きました。さきいかをエサにして、次から次へと大物を釣っていきました。釣ったザリガニはグループに1匹だけ持ち帰り、各グループで大切に世話をし育てています。

また、ザリガニを題材にした図画を描き、教室にも掲示することになっています。迫力のあるザリガニの絵が勢揃いしました。



「大物のザリガニが釣れたよ」

お年寄りとの触れ合いを深めて……宇奈月デイサービスセンター訪問

6年生が総合的な学習の時間「共に生きる」の学習の一環で、10月5日（金）、9日（火）、23日（火）、24日（水）に、宇奈月デイサービスセンターと特別養護老人ホームおらはうす宇奈月を訪問しました。

利用者の方々が利用されるお風呂等の施設の見学をはじめ、通所される皆さんの機能訓練にも参加しました。ゲーム等を通じてお年寄りとの触れ合ったり、優しい笑顔で会話したりして、介護施設の実際の様子を学びました。身近な施設への訪問を通して、福祉への思いを新たにしました。



「皆さんに喜んでもらえてうれしいな」

落語の楽しさを味わいました！・・・学校巡回劇場はなしの伝統芸能「落語」

10月4日（木）、日本青少年文化センターによる学校巡回劇場「落語」の公演を開催し、全校児童が参加しました。落語というと、テレビでおなじみの「笑点」が有名ですが、実際に生で落語を聞くのはほとんどの児童が初めてだったと思います。出演した噺家（はなしか）の桂米太朗（かつらよねたろう）さんからは、手ぬぐいと扇子を使ってそばを食べる所作の仕方の紹介や「南京玉すだれ」の実演、「まんじゅうこわい」や「牛ほめ」等、短い落語から少し長めの落語まで、たつぷりと落語の楽しさを味わうことができました。噺家の巧みな話術の素晴らしさを実感するとともに、会場中が大きな笑いに何度も包まれ、楽しい一時を過ごしました。



「こわいものを思い出しちゃった。まんじゅうがこわいよ」

人形劇の楽しさを味わいました！・・・文化庁「巡回公演事業」人形劇

10月12日（金）、文化庁「文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—人形劇」として、人形劇団「京芸」による「ウォートンとカラスのコンテスト」の人形劇を全校児童で鑑賞しました。当日は、朝6時過ぎから3時間ほどかけて舞台や装置をセットし、体育館が芝居小屋に変身したようでした。

また、6年生は事前のワークショップで作ったカラスを操り、それぞれが事前に練習して劇に参加しました。人形劇とはいえ、舞台セット、BGM、影絵等の効果、迫力満点の演技等に会場中が魅了され、思い出がまた一つ増えました。



作ったカラスと出演した6年生



人形劇団「京芸」の皆さん



愉快で楽しい人形劇

ペア学年でサツマイモ掘り！・・・収穫したイモの大きさにびっくり

10月12日、16日に、ペア学年でサツマイモ掘りをしました。大きなイモに思わずにっこり！



2・5年



1・6年



3・4年

好記録続出！……校内持久走記録会

10月22日(月)と11月1日(木)、各学年で校内持久走記録会を実施しました。10月後半は気温もめっきり低くなりましたが、児童は寒さに負けず、元気いっぱいの走りで記録にチャレンジしました。体育の時間を数時間かけて、1週200mの自分のペースを見付け、各学年の目当ての距離(1・2年600m、3・4年800m、5・6年1000m)を目指して取り組みました。本番では好記録が続出し、達成感を味わっていました。



「最後まで頑張ってね！」

小中挨拶交流を拡大！……秋の「あいさつ運動」

例年実施している宇奈月中学校との秋の小中挨拶交流を10月23～24日に実施しました。6年1組と2組が中学校へ行き、浦山・栢屋地区の自転車通学の中学生が小学校へ来て挨拶交流をしました。今年は、校内では取組を広げ、22～26日の期間、給食の縦割り班による挨拶運動も取り入れ、全員がこの運動に取り組みました。秋の早朝、爽やかな挨拶の声が響き渡っていました。



宇奈月中学校での挨拶交流



宇奈月小学校での挨拶交流(縦割りグループで参加)

PTA 資源回収にご協力ありがとうございました！

10月27日(土)、28日(日)、秋のPTA資源回収が行われました。早朝より各家庭を回っての回収や公民館等への集積に、多くの保護者の皆さんが参加されました。子供たちも張り切ってお手伝いをしていました。おかげで、どの地区も車両何台分もの資源物が回収できました。ご協力に感謝いたします。



音澤地区の資源回収の一コマ

その他の学校生活から



わくわく集会(児童集会)



3年社会スーパーマーケット(大阪屋ショップ)の見学